

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	基礎情報処理論Ⅰ、基礎情報処理論Ⅱ
教科書	「Javaバイブルシリーズ Java入門 Java 7版」瀬戸雅彦著（SCC）
補助教材等	Webで補足資料を提示する。
学習上の留意点	
<p>情報システム全般の知識が必要である。 重要な事項について練習問題を課す。練習問題を解くことで、自身の理解度を把握する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>プログラムを丸暗記するのではなく、処理の仕組みを理解することが重要である。 Java言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなる。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 授業の目的と意義	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・プログラムおよびJava言語を学ぶ目的と意義について理解できる。	第1回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
2	プログラムとは	・プログラムの概念と働きを理解し、説明できる。	第2回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
3	プログラム開発の流れ	・プログラム開発の流れを理解し、説明できる。	第3回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
4	データの表現	・コンピュータにおけるデータの表現に関するプログラムを作成できる。	第4回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
5	制御構造	・制御構造に関するプログラムを作成できる。	第5回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
6	分岐	・分岐に関するプログラムを作成できる。	第6回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
7	反復	・反復に関するプログラムを作成できる。	第7回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
8	言語要素	・言語要素に関するプログラムを作成できる。	第8回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
9	変数と定数	・変数と定数に関するプログラムを作成できる。	第9回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
10	演算子	・演算子に関するプログラムを作成できる。	第10回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
11	制御文(分岐)	・制御文(分岐)を用いたプログラムを作成できる。	第11回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
12	制御文(反復)	・制御文(反復)を用いたプログラムを作成できる。	第12回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
13	課題演習(1)	・与えられた仕様に従ってプログラムを作成できる。	第13回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
14	課題演習(2)	・与えられた仕様に従ってプログラムを作成できる。	第14回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
15	課題演習(3)	・作成したプログラムの内容を報告書として記述できる。	
総授業時間数			30時間